

原告団

遺族・CO裁判、災害責任追求、特集号 第五十五号

原告団レポート

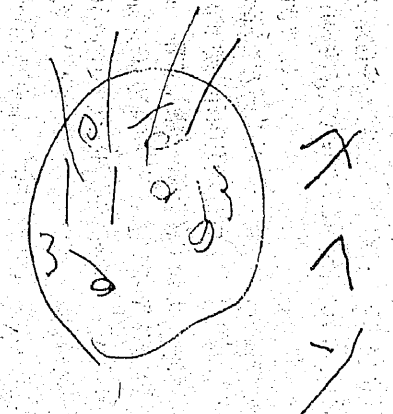
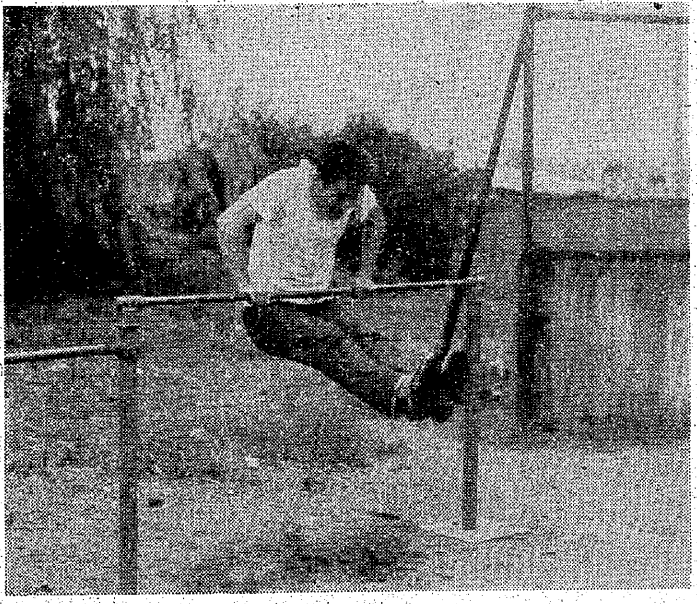
CO患者 甲斐田親さん

日記

昭和四十年一月一日(金)
朝四時から小笹山へ友達と妹と姉の子供と登りました。朝日をおがみしました。そしてたき火をたいて、もちを焼いて食べました。

家に帰ったのは十時でした。二日の朝までぐっすりとおむしりました。

九月九日(木)
今日も朝から、重りよう上げを



左の写真は、毎日起き出ですぐ鉄棒で体をきたえる。上の絵は、お母さん(39年に描いた)顔のなかに、足も手も、何もかもいつしよくたに……。

右は二つの日記からの抜粋だがどう思っても、小学初学年のクラスの見聞の作文ではない。が、一、おぼろげに、三池のCO患者の一人、甲斐田親さんが十六歳(昭和四十年)のころの日記である。

零歳児へ

甲斐田親さんは昭和十四年二月十一日、五人きょうだいのなかの一人として生れた。でも、四人は女ばかりだから文字通りひとり息子だ。

二十六歳といえは、普通なら青春が躍動する季節なのに、そのころ書きつづいた日記がこのさま。まして商業系の高校を出、簿記

とりもたせぬか青春

一度は零歳児に逆もどりにしてしまった人間 老いた母が暖くささえて

訓練生活

彼は今、荒尾機能回復指導所に自宅から通っている。卓球やバドミントンなど、名ばかりの訓練を受けるためだ。

だが、「しつこくはもう一度坑内にさがって、元通りに働ける体にならんや……」と、語るとき、彼のまなこにははげしく追いついてくる希望に輝く。



三池闘争のとき熊本の本メーデーに、三池から参加した甲斐田さん。向うで右の笑っている人。

が一般で算盤が二級とされる腕の持ち主だったし、囲碁や将棋などでも注目され、さらに三池闘争のときも青年行動隊員として、三池船団に乗り組んで海上でのピケ活動にまで参加するほどのしつかり者だった。「親の口からいつかはなんだけれど、人さまに何かの先苦勞はなほ重なるってゆくにきまってるもの、母親のさだめがそうなのか、舐められた体を訓練に投げ出すように生きてゆくひとりの息子を暖く見守り、はげましているヨノさんである。

泣く母親

昭和三十八年十一月九日、甲斐田さんは常一歩の坑内機械工として坑内にあるとき、あの大爆発が回響することができたのは、久留米の大学付属病院に移ったあと、生み出した一酸化炭素ガスを吸

「おぼろげながら、すっぱいにおいをかいだような記憶がある」といふが、甲斐田さんが虫の息となり、三井天領病院外科の土間のうらにこがされていたころを母親ヨノさんが見守っていたのは、もう翌十日の夜明け近くのことだった。

意識は、完全に失われていた。ヨノさんによれば、彼が意識を回復することができたのは、久留米の大学付属病院に移ったあと、生み出した一酸化炭素ガスを吸

医師に抗議

母親ヨノさんの介添えが功を奏して、甲斐田さんは一枚一枚皮膚がはげ落ちてくるうちに、人間らしさを取りもどしていった。

メンタルリハビリテーションも始まった。

だが、はじめての陰者自身

青年はどい

甲斐田さんはいま、母親の愛情にまみれながら、元の人間をとりもどすために、いそいそと完全に奪われてしまった青春をとり返すために、自分の命の火を惜し気もなく燃焼している。

折しも、彼自身原告の一人である。大災害裁判も、その歩みにけりかき加わっている。

「もうでもちついでならぬけんぞ。会社だけがなくて、働く人間がなくなるとどうなるぞか。会社でたたかうために、俺はあぐままで原産復帰を目標にがんばるぞい」

彼の、かくも固い決意である。だが、はじめての日記から十年ほど

たつたある年(は)きりしな(が)の九月十二日(火)に、彼が書いた次の日記は、私たちにたして何を語っているだろう。

「今日は自分一人で行って朝から重りよう上げおぼろげにして今日は一時から山今らんごて大運動会を見に行つた。東三のかんごさんが出られるのでおぼろげに行つてきた。先生の先生やここのじや(事務のこと)のうらただけで自分たは出られなうのでいつも見ているだけなので半分しかおぼろげな()の傷は深そうた。

遺族・片桐政子さんの短歌

子を守る母なればこそ 強く生き
夜ふけに綴る日記に涙
事故のあと弱音を強うして 働く吾れに生きる生を
制服に秘める想ひのあと 夫を思ひ今日も糸繰る
ふと覚めて
ほのかに明りに照らされし 亡夫の笑顔のひたになつたし

成人を迎えし娘の暗れ姿 父のいませばと胸の痛みあり
すきし日の想ひ出のこゝろ ちよとほほ
苦しきこの二十有余年

片桐さんは申し上げることもなく、本紙前身のこのページを紹介した方で、ただいま兵庫県で暮らしておいでです。きつとたかさんの短歌があることでした。ここにその一部を紹介しました。